

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人基本理念は掲げているが地域密着型サービス施設として何を目標に取り組むのか独自の理念が確立していない。その為各職員がそのサービスに向けて個々で何に取り組むのか明確に認識出来ていない。	グループホームとしての独自の理念を作成。日々のケアは理念を意識して取り組めるようにする。	スタッフ一人一人地域密着型サービス施設として個々及び全体でどう取り組むのか3つ程目標をあげてもらいそれを基にミーティングで理念定める。決定した理念は定期的に確認が出来る様月初めのミーティングで取り組みについて振り返りを行う	1ヶ月
2	10	利用者家族の意見の反映については日々のコミュニケーションや面会時の対話等で意見を頂いているが、もっと意見が出しやすい雰囲気や環境づくりが必要。	利用者、家族の意見がしやすい雰囲気づくりを意識して仕事に取り組めるようにする。	スタッフの接遇や意見に耳を傾け取り組む姿勢など研修や内部勉強会など行い日々の仕事に取り組めるようにする。また家族参加の行事等を増やしコミュニケーションの機会を増やしなが信頼関係を築いく。	2ヶ月
3	26	ケアプランについては日頃スタッフが個々で感じている本人の思いなどが上手くケアプランに反映できていない所もあり、ケアプラン作成までの流れの見直しが必要である。	ケアプラン作成の流れの確立。利用者の日々の声をもっとケアプランに反映できるよう工夫する。	ケアプラン作成の流れを、書式も変更しながら再検討する。日々の記録の書き方やカンファレンスの方法をもう一度検討しスタッフが理解してケアプランが作成できるようにする。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。